

すべての児童が主体的に学び、安心して、 自主的・自律的な学校生活を送るためのきまり（生徒指導規程）

福山市立東村小学校

第1章 総則

目的

第1条 この生徒指導規程は、児童が主体的に学び、安心して自主的・自律的に学校生活を送る中で「よりよい生き方をめざして、自ら考え、正しく判断し行動できる子どもを育てる。」ための規定です。

第2章 学校生活に関すること

(登下校)

第1条 登下校の時間を守ろう。

- 1 登校時には、通学班で並んで、登校します。
- 2 下校時には、学年毎の下校を中心とします。

第2条 登下校は、決められた通学路を通りましょう。

- 1 決まった通学路を通り、地域の人などに、自分から進んで挨拶します。
- 2 防犯ブザー(防犯笛)は、ランドセルにつけましょう。
- 3 安全を考え、坂道や通学路では、走りません。

(服装)

第3条 学校の中、特別な学校行事や社会見学など学校外での学習活動の時は、標準服を着ます。

- 1 標準服とは
 - ・夏服 ポロシャツ【白】
半ズボン・折スカート
 - ・冬服 ポロシャツ【白】，制服
半ズボン・折スカート
 - ・期間 夏服 6月1日～9月30日
(10月は移行期間)
冬服 11月1日～4月30日
(4月と5月は移行期間)
※移行期間は、天候や気温などを考えて、保護者の方々の判断で着るようにします。
 - ・通学帽 赤白帽子です。(赤が上です。)
 - ・ソックス (白，黒または紺色，儀式は紺)
 - 靴 (白が基本で運動できる靴)

・その他

※ポロシャツは、ズボンやスカートの中に入れる。スカートの下は、スパッツ，タイツ（グレー，紺，黒の無地）を体調に合わせてはいてもよいです。

※標準服の内側に着るベスト，セーターは、グレー，紺，黒，白などで、華美でないものとします。

2 体操服

・季節，体調により，半袖・長袖，ハーフパンツ・ジャージを着てもよいです。

※体操服の下には，アンダーシャツ，スパッツ等は，体操服からはみ出さないようにします。

3 防寒着

・マフラー・手袋・ネックウォーマー・ジャンパー等については，天候や児童の体調などを考えて，必要な場合に着用してよいです。ただし，校舎内に入ってから，着用しません。手袋のみ，休憩時間に着用してもよいです。ネックウォーマーは，口にかけません。

4 頭髪

・節度ある刈り方をします。前髪は，目にかからないよう工夫します。肩より長い髪は黒・紺・茶色のゴムで束ねます。

(学校生活)

第4条 学校は，すべての児童が，安全で安心して主体的に学ぶ場所です。

1 時間を守ろう。

・次の学習の準備をして休憩し，チャイムで着席，同時に黙想して学習が始まります。

2 授業中

・机の上には，学習に必要なものを考えて出しましょう。

3 ベランダには出ません。

4 他の学級や特別教室には，勝手に入りません。

5 階段前や渡り廊下では，遊びません。

6 持ち物には，はっきりと名前を書きましょう。

7 学習や学校生活に必要な物だけを持ってくるよ

うにしましょう。

※筆箱の中に用意するもの

鉛筆5本・赤鉛筆1本(4,5,6年は、ボールペン可・消しゴム1個・20cmまでの定規・名前ペン、学年によっては、コンパス、分度器、三角定規が必要です。)

- 8 携帯電話を持ってきません。(特別な事情がある場合は、学校に相談してください。)

(給食)

第5条 給食について

- 1 各自で用意したナフキンを敷いて食べます。
- 2 給食当番は、手をきれいに洗って、マスク(個人)・エプロン、帽子(学校備え付け)をつけ、配膳しましょう。
- 3 給食当番終了後は、エプロン・帽子を家に持ち帰り、きれいに洗って次の当番に引き継ぎましょう。

第5章 その他

第1条 学校のをこわした場合、保護者負担で、修理・修繕してもらうこともあります。

第2条 授業妨害、エスケープ、暴力行為、火遊び、万引き、家出、金品強要などの問題行動を起こした場合、事実を確認した上で、学校、保護者と今後の指導方針などの話し合いを行います。

第3条 情報化社会で起こる様々な問題行動(メール、SNSなどによる誹謗中傷行為)を起こした場合、事実を確認した上で、学校、保護者と今後の指導方針などの話し合いを行います。

第3章 校外での生活に関すること

(学校から帰ったら)

第1条 外出した時は、4月～9月は午後6時 10月～3月は午後5時に帰宅しましょう。

第2条 子どもだけでは、校区外へ行かないようにしましょう。

(遊び・安全)

第3条 遊び方や交通安全について、休業中のきまり(別途配布)を守りましょう。

第4章 休業中の生活に関すること

第1条 休業中のきまり(別途配布)に従って、保護者と相談して、快適な休業日が送れるように考えて生活しよう。

- 1 夏休み、冬休み、春休みのきまりを出します。